

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2022. 12. 22
No.47 文責 伊藤

南部小の良き伝統

12月に入り、新しい清掃分担での縦割り班そうじが始まりました。3年教室には、6-B 班がそうじに来てくれています。初日。班長が体調不良とのことで、5年生の副班長がリードしてくれていました。

ご存じの通り、教室そうじは「1組教室」「2組教室」「多目的スペース」の3か所からなります。彼は、みんなを集めて希望をもとにそうじ場所を分担・指示した後、自分は黒板そうじをはじめました。私も一緒にほうきをもってそうじをしていたのですが、しばらく経ってから黒板を見て感動しました。黒板がきれいでした。私は彼に聞いてみました。

「どうして縦に拭くと良いって知ってるの？」

すると彼は、何を当たり前なことを聞いているのかと言わんばかりの顔で次のように答えてくれました。

「小さい時からそうやってるのを見てきたので。」

これまでにそうじで関わってきた上級生がそうじしている姿をしっかりと見て覚え、その方法が効果的であると判断して、自分の中に取り入れたということです。周りを見て情報を集め、活用している。まさに、「学習」の流れそのもの、やらされているのではなく「主体的な学び」そのものなのかなと思います。

子ども達は思っている以上に周りをよく見ているし、思っている以上にいろいろなことを聞いているのだと思います。私自身が、主体的・対話的な学びや関わりを続けていくことで、知らず知らずのうちに（潜在的に？）子ども達の学び方にもいい影響を与えられるのかもしれない。これから学び続ける教師（まだ到達していませんが…）であり続けたいものだな、と思った一幕でした。おしまい。

No try No fail. No try No success.